

①事業名	情報通信基盤災害復旧事業費補助金事業				
②特定被災地方公共団体名	石巻市	③所管部署	情報システム課		
④連絡先:TEL	0225 - 95 - 1111	E-mail	isinfopol@city.ishinomaki.lg.jp		
⑤事後評価実施時期	平成 30 年 7 月				
⑥公表方法及び時期	http://www.city.ishinomaki.lg.jp/ 平成30年8月公表				
事業概要	⑦復旧実施期間	平成 24 年 3 月 29 日 ~ 平成 24 年 12 月 19 日			
	⑧予算年度	平成 23 年度 補正	⑨総事業費(千円)	81,580 千円	
	⑩補助対象事業費(千円)	81,580 千円	⑪補助金額(千円)	54,386 千円	
	⑫復旧対象地域	石巻市の荻浜地区、雄勝地区、北上地区、牡鹿地区			
	⑬条件不利地域	過疎(一部地域)、辺地(一部地域)			
	⑭事業内容				
	<p>震災の被害により、FTTHサービスが中断している地域のうち、荻浜地区、雄勝(船越)地区、北上(相川)地区、牡鹿地区について、復旧事業により光ファイバ網を再構築し、住民向けのFTTHサービスを再開する。</p> <p>石巻市では、平成21年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業を活用して住民向けの地域情報通信基盤を整備し、通信事業者にIRU契約で光ファイバ網を貸付け、通信事業者がFTTHサービスを実施していた。</p> <p>しかしながら、東日本大震災により、地域情報通信基盤整備推進交付金事業により整備した光ファイバ等の情報通信基盤設備の一部に被害を受け、複数の地域でFTTHサービスの運用が停止してしまった。</p> <p>市としては被害を受けた情報通信基盤の早急な復旧が必要であり、地域の住民からも要望が寄せられているため、光ファイバ網を再度整備し、通信事業者によるFTTHサービスの運用を再開するもの。</p>				
	再開するサービス	BB		CATV	
	⑮サービス再開日	平成 24 年 12 月 25 日		平成 年 月 日	
	⑯運営方式	公設民営(IRU)			
⑰契約先	東日本電信電話株式会社宮城支店				
⑱指標	復旧計画時の目標	実績	復旧計画時の目標	実績	
	年度	初年度～最終	H29年度末	初年度～最終	H29年度末
<small>*地域情報通信基盤推進交付金、新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業の復旧(BB,CATV)</small>	地域インターネットの復旧(BB)				
(復旧地区の)世帯数	システム利用可能数	1,700 世帯	2,361 世帯		
加入世帯数	システム利用数	425 世帯	754 世帯		
加入率(%)	システム利用率(%)	25.0 %	31.9 %	% %	
⑲評価及び課題(課題に向けた今後の取組み等)	<p>東日本大震災により被害を受けた情報通信基盤を早期に復旧させたことにより、震災の影響によって発生していた情報通信格差の是正を図ることができた。また、IRU事業者が行った加入促進に係る施策の効果もあり、加入率については、復旧事業計画時の目標を達成することができ、当事業の実施については十分評価できる。</p> <p>今後は新規・移転申込み時、並びにADSL利用者への積極的な光化の勧奨を図るため、IRU事業者によるポスティングや外部委託会社と連携した販売活動の実施など様々な施策を講じ、更なる加入率向上に向けて引き続き取り組んでいく。</p>				

①事業名	情報通信基盤災害復旧事業費補助金事業				
②特定被災地方公共団体名	石巻市	③所管部署	情報システム課		
④連絡先:TEL	0225 - 95 - 1111	E-mail	isinfopol@city.ishinomaki.lg.jp		
⑤事後評価実施時期	平成 30 年 7 月				
⑥公表方法及び時期	http://www.city.ishinomaki.lg.jp/ 平成30年8月公表				
事業概要	⑦復旧実施期間	平成 24 年 9 月 18 日 ~ 平成 25 年 3 月 21 日			
	⑧予算年度	平成 24 年度 当初	⑨総事業費(千円)	64,640 千円	
	⑩補助対象事業費(千円)	64,640 千円	⑪補助金額(千円)	43,093 千円	
	⑫復旧対象地域	石巻市の河北地区、雄勝地区、北上地区			
	⑬条件不利地域	過疎(一部地域)、辺地(一部地域)			
	⑭事業内容				
	震災の被害により、FTTHサービスが中断している地域のうち、河北(大川)地区、雄勝(雄勝)地区、北上(北上)地区について、復旧事業により光ファイバ網を再構築し、住民向けのFTTHサービスを再開する。				
	石巻市では、平成21年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業を活用して住民向けの地域情報通信基盤を整備し、通信事業者にIRU契約で光ファイバ網を貸付け、通信事業者がFTTHサービスを実施していた。 しかしながら、東日本大震災により、地域情報通信基盤整備推進交付金事業により整備した光ファイバ等の情報通信基盤設備の一部に被害を受け、複数の地域でFTTHサービスの運用が停止してしまった。 市としては被害を受けた情報通信基盤の早急な復旧が必要であり、地域の住民からも要望が寄せられているため、光ファイバ網を再度整備し、通信事業者によるFTTHサービスの運用を再開するもの。				
	再開するサービス	BB		CATV	
	⑮サービス再開日	平成 25 年 4 月 1 日		平成 年 月 日	
⑯運営方式	公設民営(IRU)				
⑰契約先	東日本電信電話株式会社宮城支店				
⑱指標	復旧計画時の目標	実績	復旧計画時の目標	実績	
	年度	初年度~最終	H29年度末	初年度~最終	H29年度末
<small>*地域情報通信基盤整備推進交付金、新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業の復旧(BB,CATV)</small>	地域インターネットの復旧(BB)				
(復旧地区の)世帯数	システム利用可能数	1,322 世帯	1,368 世帯		
加入世帯数	システム利用数	331 世帯	552 世帯		
加入率(%)	システム利用率(%)	25.0 %	40.4 %	% %	
⑲評価及び課題(課題に向けた今後の取組み等)	東日本大震災により被害を受けた情報通信基盤を早期に復旧させたことにより、震災の影響によって発生していた情報通信格差の是正を図ることができた。また、IRU事業者が行った加入促進に係る施策の効果もあり、加入率については、復旧事業計画時の目標を達成することができ、当事業の実施については十分評価できる。 今後は新規・移転申込み時、並びにADSL利用者への積極的な光化の勧奨を図るため、IRU事業者によるポスティングや外部委託会社と連携した販売活動の実施など様々な施策を講じ、更なる加入率向上に向けて引き続き取り組んでいく。				